

【科目名】代謝系疾患理学療法学		【担当教員】高橋洋						
【授業区分】 専門分野(理学療法治療学)	【授業コード】 3-17-0660-0-1	(メールアドレス) hiros hit@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月、火、木、金 8:00～17:30						
【開講時期】3年次前期	【選択必修】必修							
【単位数】1	【コマ数】8							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと (受講のルールに関わる情報・予備知識)								
【講義概要】 (目的) 糖尿病の病態、合併症、理学療法について講義する。運動の人体に及ぼす影響、運動の適応と効果、チェックを講義する。運動を行い、その前後の血糖値を測定する。 (方法) 資料を配布する。								
【一般教育目標(GIO)】 糖尿病の運動療法を行えるために、糖尿病の病態、合併症を理解し、運動の人体に及ぼす影響について理解できる。 【行動目標(SBO)】 糖尿病の病態、糖尿病に対する運動の意義を知り、糖尿病の運動療法が行えるようになる。								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】 細田多穂、柳澤健編集：理学療法ハンドブック、疾患別・理学療法基本プログラム、協同医書出版社、								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 期末試験、レポートにより総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計

平成 26～28 年度入学者用

総合評価割合		80	0	20	0	0	0	0	100 点
評価指標	取り込む力・知識	○							
	思考・推論・創造の力			○					
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢			○					
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)				時間(分)	
1	オリエンテーション 糖尿病、糖尿病治療	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30 分	
2	血糖値測定、合併症	講義、実習		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 実習後のレポート作成。				60 分	
3	運動の人体に及ぼす影響	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30 分	
4	脂質代謝、運動の適応と効果	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				60 分	
5	運動の適応と効果、高血圧との関連	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30 分	
6	運動の適応、チェック	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30 分	
7	症例紹介、実技	講義、実技		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30 分	
8	実技	実技		(予習) 国試過去問をやっておくこと。 (復習) 実技のレポート作成。				120 分	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。